

経営実践コンサルティング部会開催のご案内概要（2026年3月21日（土）13:00～）

経営実践コンサルティング部会長 柴田仁夫（岐阜大学）

経営実践コンサルティング部会では、2026年3月21日（土）13:00-15:15に下記の通りオンラインにて「複層する地域課題の解決に地域資源の統合は有効か」をテーマに研究部会を開催します。なお、今回はこれまでの部会とは装いを変え、法政大学経営大学院に在籍する3名から発表頂きます。会費は無料ですので、奮ってご参加ください。

概 要：昨年公開された映画「宝島」の舞台として注目を集めた沖縄市（コザ地域）は、那覇や北谷との競争環境の中で「素通り観光化」が進み、「子どもの貧困」等の複層的な地域課題に直面している。

こうした状況下では、観光・文化・スポーツ等の地域資源を「統合」する施策が持続的な地域価値の向上に有効な施策として考えられる。

今回の研究部会では、地域資源を統合するための公共と民間のガバナンスのあり方、資源統合を通じた地域ブランディングの方向性などの視点から、他地域にも応用可能な「地域資源統合のマネジメント」について議論する。

開催日時：2026年3月21日（土）13:00-15:15

開催方法：Zoomによるオンライン

主 催：日本マネジメント学会 経営実践コンサルティング部会

費 用：会費は無料

申込〆切：2026年3月15日（日）

申込方法：所属機関、お名前を記載の上、shibata.kimio.y5●f.gifu-u.ac.jp（●を@に変えてください）まで、メールにてお申し込みください。

お申込み頂いた方には、3月18日（水）までにZoomのURLをお送りさせていただきます。

報告内容：解 題：「沖縄市の歴史的条件と抱える課題～映画『宝島』より」

岩瀬敦智（法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 准教授）

報告1：「沖縄市観光施策におけるデータドリブン・ガバナンスの実践」

森 成隆（法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科）

内容：観光の実態把握から施策評価まで、データ活用による新たな行政運営モデルを検討する。

報告2：「コザを軸とした沖縄市ブランディング」

祖山 美紀（法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科）

内容：市外・県外におけるイメージ形成と、コザ文化資源を活かしたファン・マーケティングの可能性を検討する。

報告3：「子ども食堂に『本当に手を差し伸べたい子ども』に来てもらうための施策」

三輪 俊樹（法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科）

内容：支援が届きにくい子どもへのリーチモデルと、スポーツチームとの協働可能性を検討する。

※当日は、解題（5分）の後、各報告者の発表（20分）、質疑応答（20分）を3回繰り返す予定である。